

令和3年度 第1回

千葉市文化財保護審議会

----- 関係資料 -----

● 報告事項資料

資料1 市指定文化財（史跡）猪鼻城跡及び七天王塚（5号塚）の発掘調査（確認調査）実施について

市指定文化財（史跡）猪鼻城跡及び七天王塚（5号塚）の発掘調査（確認調査）実施について

1 文化財の概要

- | | |
|-----------|------------------|
| (1) 指定区分 | 記念物（史跡） |
| (2) 指定名称 | 猪鼻城跡（含七天王塚） |
| (3) 指定年月日 | 昭和35年3月9日（指定第1号） |
| (4) 所有者 | 千葉市 |
| (5) 指定範囲 | 亥鼻公園内 |
| (6) 説明 | 猪鼻城跡 |

千葉常重が大治元年（1126）、上総大椎城から猪鼻山に移り、ここに築城したのがはじめである。城といっても石垣と天守閣をもつ宏大な近世城郭ではなく、小規模で簡単な普通の住宅建築で所々木造の門や櫓のある居館であって、むしろ天嶮を強化して戦時に備えたのである。

七天王塚

猪鼻旧城跡内の千葉大学医学部構内及びその付近にある古塚で、構内に5箇、県道を隔てて民家の間に2箇、合せて7箇、その内1箇は瓢形であるが、他は皆円形で、一、二を除く他は塚の中央に各々樹齢数百年を経過し、いずれも点を突く老松が一株あり、周囲は常緑樹をもって取り囲んでいる。また、その内4箇には安永2年建設の「牛頭天皇 大治元年丙午六月朔日 平常重代」の文字を刻した碑と、明治10年丑の8月建設の「牛頭天皇」の碑があるが、千学集には「千葉の守護神は曾場鷹大明神、堀内牛頭天皇云々」とある。この由緒については定説はないが、あるいは塚の配置があたかも北斗七星に似て、しかもその位置が猪鼻城の鬼門に当たる所より、築城の際、鬼門除けのための北斗七星を祀れるものか、けだし上代の豪族の古墳と見るのが妥当であろう。

（指定時の説明書類から抜粋）

2 史跡の現状

(1) 猪鼻城跡

城跡の主要部は市が所有し、現在亥鼻公園として整備・公開している。周囲には土塁が廻り、最も原状を留めている。東側の市立郷土博物館から県立文化会館にかけては土地の改変が著しく、郷土博物館周辺で過去に発掘調査を実施しているものの、全体的な城郭の構造の解明には至っていない。さらに東側の千葉大学医学部構内、住宅地内にも堀状の谷津が残るなど、猪鼻城跡に関連する遺構が展開している。

指定範囲を明確に定めておらず、台地上全体を埋蔵文化財包蔵地として周知し、工事に際して発掘調査等を実施している。

(2) 七天王塚

7基の塚のうち、宅地内に残る2基は市が所有し、文化財課で管理・公開している。残る5基は千葉大学医学部構内にあり、同学で管理・公開している。市有の2基については、周囲の所有者との境界立会等を経て境界を確定し、指定範囲が定まっているが、大学構内にある5基は明確な範囲を定めていない。

3 千葉大学災害治療学研究所新営工事に伴う発掘調査（確認調査）の実施について

(1) 経緯

令和3年3月下旬、国立大学法人千葉大学施設環境部建築環境課より千葉大学医学部校地内にて新研究棟の建設計画を進めるにあたり、猪鼻城跡及び七天王塚（5号塚）への工事による影響及び必要な手続き等に関する事前照会を受けた。これを受け、対象地は猪鼻城跡の範囲内であること、及び七天王塚（5号塚）に隣接することなどから、工事実施にあたっては文化財保護法第93条に基づく届出が必要である旨を伝え、令和3年4月15日付で同届出の提出を受理した。

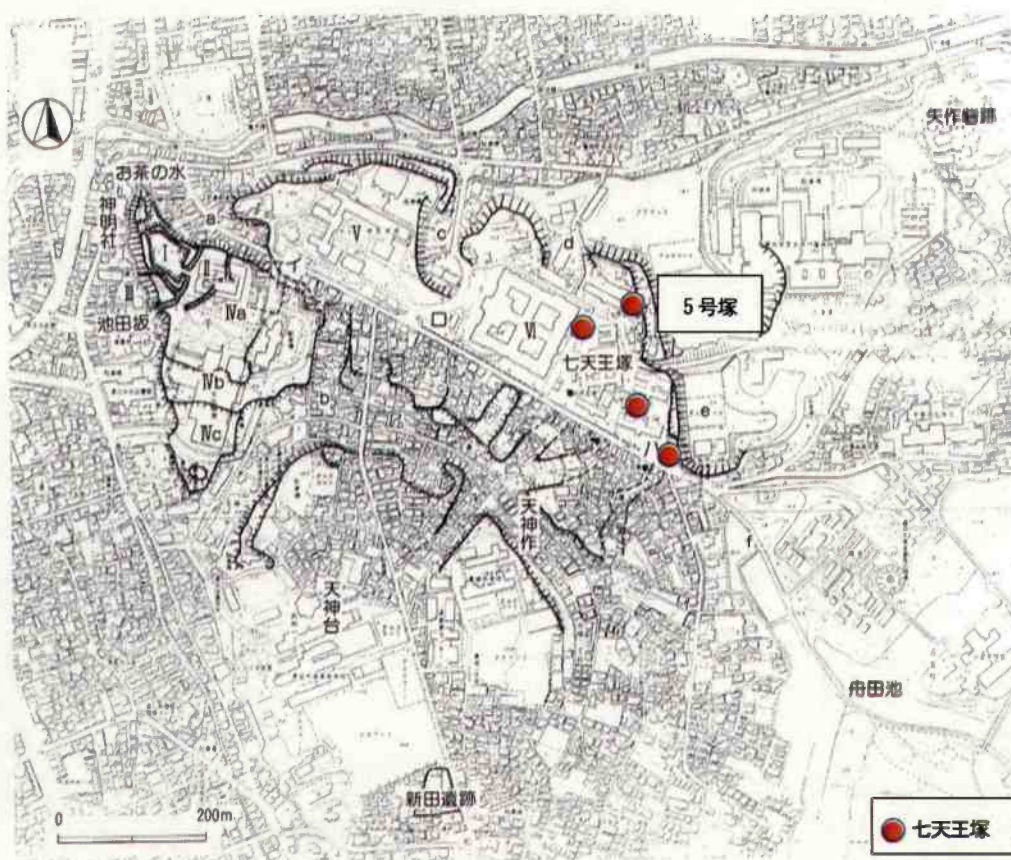
対象地は、隣接地で行われた過年度の発掘調査において古墳時代の住居や古墳が確認されていること、及び七天王塚（5号塚）については指定範囲が未確定であり、指定範囲の確定が必要となることから、工事着手前に発掘調査（確認調査）が必要であること及び調査の結果に基づく協議が必要である旨を通知した。

(2) 今後の取り扱い

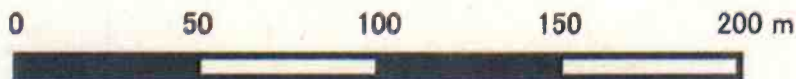
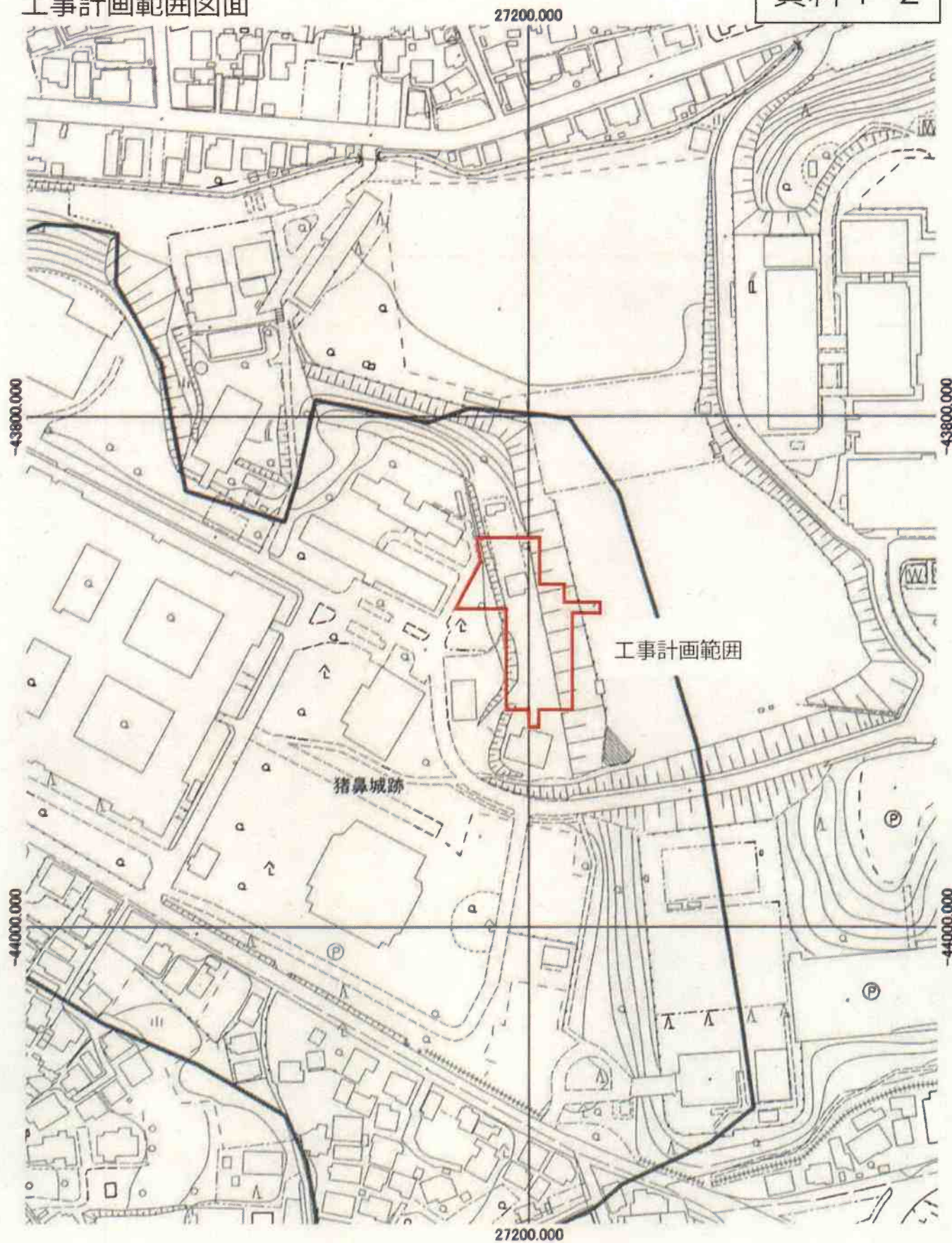
千葉大学より、文化財保護法第99条に基づく埋蔵文化財発掘調査の届出を受理した後、猪鼻城跡の埋蔵文化財包蔵地への影響及び七天王塚（5号塚）の範囲確定を目的とした発掘調査（確認調査）を実施する。調査終了後、千葉市文化財保護審議会に調査結果を報告し、今後の取り扱い及び七天王（5号塚）の指定範囲について審議を行う。併せて、千葉大学に調査結果を通知し、開発計画と埋蔵文化財への影響について協議を行う。

(3) 今後のスケジュール

令和3年5月下旬～6月	発掘調査（確認調査）の実施
令和3年7月～9月	第2回千葉市文化財審議会に調査結果を報告・審議 千葉大学との協議
令和3年10月以降	工事着手（埋蔵文化財及び史跡への影響がないと判断された場合）



猪鼻城跡概念図（『千葉県歴史資料編 中世1』より）



資料 1-3

